

夢を信じ抜くことの 大切さを伝えていきたい。

広島へのサッカー留学。

4つ上の兄の影響で、幼稚園の頃からサッカーを始めました。地元のクラブチームに加入したのは小学2年生のとき。家の中でも外でも、とにかくずっとボールを蹴っている子どもでした。

中学3年生の3学期にサンフレッチェ広島ユースからオファーをもらい、自らの意志でサッカー留学を決意。中学で親元を離れるなんて想像もしていなかったので1年目はとにかく不安との戦いでした。

仲間と打ち解けていくうちに、先輩に当たるトップ選手の練習や試合も見に行くように。少しずつ「いつか自分も先輩たちのようにになりたい」という気持ちを強く抱くようになっていきました。

身近なプロスポーツ選手の存在。

実は、僕の前にプロスポーツ選手になる夢をかなえたのは兄なんです。バスケットボール選手だった兄は、アルバイト先のカフェで富山グラウジーズの選



大崎 淳矢さん

手たちと接することが多く、プロの世界を意識するようになったそう。バスケットボール選手としては小柄ながらも実力ある選手の中から新潟のプロチームとの契約を勝ち取りました。僕が16歳のときの出来事です。

「自分ではできるという思い込みも時には必要。夢は言い続けることが大事」とよく話していた兄は、見事に自分の力で夢を実現しました。

富山にプロチームがある環境や富山出身の選手が世界で活躍していることは、子どもたちに「自分にもできる」という勇気を与えてくれると思います。僕は身近に兄の存在があったおかげで、プロサッカー選手になる夢を追いつけられたと思っています。

兄弟で富山のためにできること。

今年1月、プロ12年目にして富山へ帰って来ました。いつか地元でプレーしたいと思っていたので、声をかけてもらったときはうれしかったです。兄から「富山に帰ってくるならサッカーだけでなく、自分が住むまちのために活動したらどうか」との助言もあり、2月から一緒にYouTubeチャンネルを開設し、富山の魅力を発信し始めました。

現在、兄は社会人でありながら、3×3（スリーエックススリー）バスケットボール選手として、富山に新しいスポーツカルチャーを作ろうと活動しています。今後も一緒にスポーツを通して、子どもたちに自分の夢を信じ抜くことの大切さを伝えていきたいです。



ユニホームを手に兄の紳矢さんと

この連載では、富山で活躍するさまざまな方の「アメイジング（驚くほど素敵）な富山」について掲載します。また、WEBサイトでは皆さんのアメイジングなエピソードも募集しています。

▶ 詳細は、「アメイジング トヤマ」で検索してください。



WEB サイト

大崎淳矢(おおさきじゅんや)さん
1991年富山市生まれ。富山北FC時代にU-15日本代表に選ばれ、サンフレッチェ広島ユースに加入。その後、徳島、山口、栃木でプレーする。今年1月カターレ富山に加入。